



Feng-Shui Gallery

special edition vol.29

～風水デザインが空間にもたらす影響を、スペースごとに考える～

『クリニック vol.2』

【写真1】診察室ごとに壁の色が違う歯科医院。暖かいイメージの色を多用することによって不安感は緩和されます。また、通路が曲線で構成されている点も、安心感をイメージさせる効果があります。【写真2】人間の脳では、緑は「健康」、黄色は「希望」をイメージさせる色といわれています。診察室にこのような意味をもった色を用いることで、心の面からも健康になる空間となります。【写真3】サロンのような落ち着いた色合いの受付待合室。照明の光も従来のクリニックとは違い、スポットライトで雰囲気重視したデザインとなっています。【写真4】丸い造作天井が印象的な待合室。ウッドブラインドや、ソファに使用されているファブリックが、温もりのある空間イメージを与えています。



【大写真】クリニックというよりは、美容室のようなおしゃれな雰囲気の歯科医院。筒型の間仕切り壁で包み込まれるような治療ブースは、安心感を感じさせます。

治療のためのスペースだからこそ、色や形を工夫して不安を抑え、安心できるような空間作りを。

クリニックというと、真っ白な空間の待合室にソファが並んでいて、蛍光灯の照明が煌々と照っているというようなイメージがあるかもしれませんが、最近では木目や色を使った空間のクリニックも増えてはいますが、それでもまだまだ他の業種に比べると少ないのが現状です。クリニックをデザインするときに気をつける部分は「安心感」をイメージさせる空間作りです。そのためには曲線を多く用いたり、暖色系で壁を仕上げたりすると効果があります。